

岐阜市「玉宮通り商店街」を歩く

「がんばる商店街 77 選」のにぎわいあふれる商店街の一つ、岐阜市の玉宮通り商店街を訪ねた。市役所でまちづくりの経過説明をうけ、柳ヶ瀬商店街を歩いて玉宮通りに向かった。久しぶりに柳ヶ瀬を歩いたが、やたらと空き店舗が目についた。玉宮通りに入ると雰囲気が変わり、整然とした街並みの商店街に活気が感じられた。

岐阜駅周辺と柳ヶ瀬をつなぐ南北約 300m (幅 6m) の玉宮通りも、10 数年前は閑散として、まちにも元気がなかった。まちの再生に向けて、地権者とテナントなどにより

「玉宮まちづくり協議会」が 1990 年に設立され、92 年には「まちづくり協定」が締結された。協定の目的は「玉宮通りにおけるまちづくり憲章と



して、関係者(玉宮まちづくり協議会の会員、沿道区域関係者)のまちづくりに対する意思統一を図り、店舗と住宅が一体となった魅力的なショッピングモール(買物道路)にするためのまちづくり全般に関わる取り決めを定めるものである。」

街並み整備のルール化により、個性的な景観の商店街を創出するために、1.5m 程度の前面空地、半地下建物などが奨励された。協定適用区域で建物の新築や増改築を行う際は、「まちづくり委員会」に届け出て事前協議・調整を行うことになっている。街並み整備の促進とあわせて、新しい社会実験の開催によるまちづくりの展開として、オープンカフェや落書きクリーンアップキャンペーンなどが実施された。

玉宮通りも落書きに悩まされていたが、まちづくりの展開とキャンペーンにより、かなり改善されてきた。写真のような張り紙を目に



した。また、しゃれた椅子が店の前においてあり、落ちついたショッピングモールを演出していた。

中心市街地や下町の商店街を元気づけるために何が必要なのか、そのヒントを玉宮通り商店街から学ぶことができた。

(2006年8月11日 記)